

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和6年 2月 29日

事業所名: あゆみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		グループの中でも園児を少人数化して対応し、運動遊びでは十分に体を動かして遊ぶスペースが確保されている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準よりも子どもにあわせて多く配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		スケジュールボード等を利用して視覚的にわかりやすいように設定している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		午前・午後の療育終了後に室内・玩具の消毒清掃を欠かさず行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		随時、話し合いを行い職員の共通理解に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の意向や情報を収集し、改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価結果については、ホームページで公開し、その旨を伝えている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		効果的な外部評価を検討していきます。
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各種の研修に参加し研鑽を積んでいる。また、月1~2回職場研修を行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		個別に面談をして支援計画に反映させている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		関係機関からの情報も得て、支援にいかしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個々のニーズや課題・保護者のニーズや気づきを踏まえた支援内容を、検討会議を実施しながら作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		専門療法士等からも意見を頂きながら支援につなげている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個々に応じた支援方法をチームで行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月、活動内容を考える際、いろいろな活動を取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		毎回、療育案を個々に合わせて設定している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		活動内容についてミーティングを行い子どもの関わり方についても把握・確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後に子どもの行動について確認し、専門療法士が未熟しているときはカンファレンスの中で対応について学び、共通理解を得ている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、個々の記録をとり、共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援計画を基に随時モニタリングを実施し計画の見直しにも繋げている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センター等での総合発達相談会へ参加し、連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		現在、該当児の在籍がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		現在、該当児の在籍がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		それぞれの関係機関との連絡会や情報交換を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		すこやかファイル・支援シートを使用して連携を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		センター主催の連絡会に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		並行通園している園児が21名。交流は今後、検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		地区のネットワーク会議や連絡会に参加し、情報を得ている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者と登園するため、活動の前後に子どもの様子を伝えあっている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		ペアレントプログラムや勉強会を実施している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園時の面接のときに、重要事項をもとに伝えている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談内容によっては療法士や臨床心理士にも助言を頂いている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		交流会を計画し、連携を支援している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時、相談など対応できるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月おたよりを発行し配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		法人のプライバシーポリシーに基づき面談時に説明し同意を得ている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者と直接話をして配慮できるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の親子をお呼びし、音楽会を実施している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを作成し実施している。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月避難訓練を実施している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園前面接時に確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		入園前面接時で聞き取りをして個々に応じている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		作成した記録簿を職員間で回覧して改善や注意点について周知している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年、虐待に関する研修を実施している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		親子登園のため、療育の様子を参観してもらっています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)